

平成31年度第1回白井市情報提供計画策定委員会議事録

- 1 開催日時 令和2年2月28日（金） 午前10時00分から正午
- 2 開催場所 市役所東庁舎3階 会議室303
- 3 出席者 高橋会長、原田副会長、長野委員、市川委員、手塚委員
- 4 欠席者 小野寺委員
- 5 事務局 篠宮総務課長、村越副主幹、宇藤主査補、苛原主任主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題

議題1 今後のスケジュールについて

議題2 情報提供に関するアンケート調査について
その他

8 会議概要

【議題1について】

- ・当初平成31年度中の策定完了を予定していた白井市情報提供計画について、令和2年9月を策定完了予定としたスケジュールの修正案を事務局より提示し、承認を得た。

【議題2について】

- ・情報提供計画策定に係るアンケート調査の設問案を事務局より提示し、各委員に意見を伺った。

主な意見は以下のとおり。

- ・広報しろい、市ホームページの充実と、メール配信のPR強化を軸とする。
- ・設問の内容や選択肢を見直し、今回提案のあった設問を追加する。
- ・居住年数の細分化や情報行動について等属性を問う設問を増やし、分析が行えるようにする。

【今後について】

- ・本会議で出た意見を基にアンケート案の修正を行う。
その後、修正したアンケート案を各委員へメールし再度意見を伺う。
- ・再度修正したアンケート項目で3月中にアンケートを実施し、4月下旬までに回収、5月に集計を行う。
- ・5月下旬に令和2年度第1回会議を実施する。

議事内容については以下のとおり

1 開会（進行：事務局）

白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、委員の出席数が定数に達しているため会議が成立することを報告。

白井市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議は全て公開することについて了承を得る。

2 議題（進行：会長）

（1）今後のスケジュールについて

（事務局より白井市情報提供計画策定委員会スケジュール修正案に基づき説明）

事務局 平成31年度中にアンケートを実施、令和2年度は5月、6～7月頃、9～10月頃に会議を実施、9～10月に計画策定完了を予定している。

会長 議題1については、議題2の説明後に改めて各委員から意見を伺うこととしてよいか。

各委員 （承認）

（2）情報提供に関するアンケート調査について

（事務局より白井市民アンケート案に基づき説明）

事務局 アンケートはA4両面印刷で2～3枚程度を予定。

対象は16歳以上の市民から無作為抽出2,000人、郵送で実施予定。

事務局 問08について「あなたが所有している情報機器」と書いているが、家庭で利用できるものを想定しているため、後日文言を「利用」に修正する。

委員 問06の居住年数について、千葉ニュータウン開発前後の区分を増やすことで、既住民と新住民の意識の違いが見られるのではないかと。

委員 既住民と新住民については居住エリアで分ける方が良いのでは。

事務局 エリアに関する質問は既にあるため、問06の選択肢を増やす。

会長 小中学生はアンケート対象外とのことだが、学校等で配布されるプリント等子供を通じて入る情報が多い。小中学校に通う子どもの有無も聞いてみてはどうか。

事務局 子どもの有無と併せて、学校からどの程度情報を入手しているかを問う設問を増やすことを検討する。

委員 アンケートは郵送とのことだが、誰宛てに出すのか。

事務局 個人に向けて発送する。

委員 郵送の場合、世帯主が回答してしまうのではないかと。

事務局 他アンケートでも同様の送付方法をとっている。アンケートの説明で注意喚起をする等、宛名の方が回答してもらえるよう工夫する。

事務局 市の情報発信については、今年度実施した住民意識調査で市の情報入手先として多く選ばれていた「広報しろい」と「市ホームページ」を充実させる方針を計画に盛り込みたい。

設問についても広報しろい、市ホームページに関する内容を多めに作成した。

委員 問17～問21が市のホームページについての質問だが、別添資料によると市の情報の入手先としてホームページを選択している市民が20.1%と少なく、回答できる市民が少ないのではないかと。

e-モニター制度を利用する等の方法で回答数を増やせるのでは。

事務局 情報発信の即時性を考慮すると今後ホームページを充実させることはやらなければならない課題。本アンケートをきっかけにホームページを見ていた

だく機会になるのではないかと期待している。

会 長 選択肢に「わからない」を用意することで見ていない市民も吸収できる。
事 務 局 問17で「見ていない」を選択した市民に対し、なぜ見ていないのか聞く設問を増やす。

委 員 問21でホームページでどんな情報を見ているか聞いているが、もう1つ今は見ていないが本当はこんな情報が知りたい、という意見も重要では。

会 長 問15と問24を1つにまとめてみてはどうか。

委 員 広報しろいについてどこを見ているか、どの記事をよく読むかを選ぶ設問があった方が良いのでは。

会 長 問21の選択肢について、市ホームページの構成と合っていない。
事 務 局 選択肢を市ホームページの現在の構成と合わせる。

委 員 問21の聞き方で本当に市民がどんな情報を求めているか市がくみ取れるか疑問。

ホームページよりも情報が自動的に配信されるメール配信サービスを活用する方が重要ではないか。

会 長 メール配信サービスは課ごとに情報を発信しているが、課の枠にとらわれず、市のお知らせやイベント情報等の見出しと、市ホームページのURLリンクが記載された総合的なメールサービスがあれば良いと思う。

事 務 局 現在のメール配信サービスは開始から7年経つが利用率が低い。

委 員 メール配信サービスの利用者が増えれば市の情報発信がスピーディーになる。また、メールを利用して双方向のやりとりも可能ではないか。実行施策案としてメール配信の強化を考えてみてはどうか。

委 員 問09の選択肢について広報しろいを紙媒体ではなく、WEB版で見ている方もいるのではないか。

会 長 問09の選択肢に議会だよりが入っていない。別添資料の市の情報入手先を見ると、広報しろいに次いで2番目となっている。

事 務 局 議会だよりは新聞折り込みで年4回発行。議員で構成される議会だより編集会議が作成をしているので発行元は厳密には市ではない。

会 長 市の情報の入手先として割合が多いので、選択肢には追加したい。

委 員 発行元が厳密に市ではないというのは市民目線ではあまり関係ない。

議会の内容は興味があるが、メール配信等では情報が来ない。

事 務 局 市民の方々から市への情報提供について、各課で調査を行ったが、現在のところ電話、メール、窓口、市長への手紙のみで、課独自で情報提供手段を持っている課はなかったため、市民の方がどんな情報を提供したいのか、どんな方法があるかを問う設問となっている。

委 員 問31は市への要望等、具体的な情報提供が来てしまうのではないか。

- 委員 　　そういう意見が来ればそれはそれで良い。
具体的な体験談等が来れば参考にしやすいのではないかと。
- 会長 　　問31を問30の選択肢その他に自由記述で回答させる、問07の区分けを別紙にする等、スペースを空けて設問を増やす方が良いのではないかと。
- 委員 　　アンケートの大分類のタイトルが分かり難い。
読んだときにわかり易い内容の方が良い。
- 会長 　　問29について、選択肢の並び順を変えて市で実施していない4．SNSを他の選択肢の後にした方が良い。
- 委員 　　アンケートを通じて、情報発信等の手段やツールを、継続するか、取り止めるか判断できる。
市が積極的に取り組む意思がないのであれば、選択肢をむやみに増やさない方が職員の負荷が減る。
実行計画についてもステップバイステップで強化拡充していくのが良い。
防災等にも活用できるメールを重視する方向で考えた方が良いのではないかと。
- 会長 　　若い世代はメールの使用率が低く、災害時にTwitterが活用されている。
アンケートの選択肢として残しておく分には良いと考える。
- 会長 　　地域の新聞やミニコミ誌とはどのようなものか。
事務局 　　白井市は地域紙、ミニコミ誌が多い。その多くがカラーで綺麗で見やすい。
市で発信している情報よりも面白く興味を引くような情報が多く、プレゼントが付くものまであり、市民が読む機会が多いのではないかと。
- 会長 　　地域発の情報をうまく取り込めれば良い。
- 委員 　　防災等は自治会でも積極的に取り組んでおり、自治会のメンバーが集まる機会もある。
そういった場でメール配信サービスをお知らせすれば良いのでは。
他にも学校等で行っているメール配信とセットで登録してもらえれば利用者が増える。
- 会長 　　乳幼児健診等メール配信サービスのチラシを配布できる機会が多い。
委員 　　転入時のセットにチラシを入れれば更に良い。
委員 　　地域の情報誌やコミュニティ誌がお得な情報なども入れながら市民に受け入れられている状況が分かった。この点は見習うところもありそうだ。
- 会長 　　全体を通して他になにかあるか。
委員 　　情報提供の項目にある「市への要望」は市政に対する提言も要望の位置付けで良いか。
- 事務局 　　今回はあくまで情報に特化したアンケートであるため、市政への提言については細かく問うことはしない。

委員 広報しろいについては全戸配布を実施しているので、重視するのは当然だが、情報を得るために市民が能動的に動く手法についても考えることが重要。
会長 市以外で出している情報とどう連携するか、簡単でも計画に入れることができれば良い。

会長 これまでの意見を踏まえてスケジュールはどうか。
事務局 3月中旬から下旬にアンケートを送付、4月の末頃までに回収し、集計を行い、5月下旬に令和2年度第1回会議を実施する。

その後、頂いた意見をまとめて7月中旬頃までに第2回を実施予定。

会長 アンケート案は、今回頂いた意見をもとに修正案を作成し、各委員からメールで再度意見を伺い、その後事務局預かりにすることとして良いか。
各委員 (承認)

会長 最後に各委員から一言ずつ。

委員 広報しろい、市ホームページのブラッシュアップ、メール配信をどう広げていくのかが計画の柱だと感じた。

アンケートでPC、タブレット、スマホの所有率が高いという結果が出れば、ホームページやメール配信強化の根拠となる。

地域コミュニティ等の友達作りに繋がる情報があれば良いと考えているが、そういった考えをくみ取れるアンケートになれば良い。

委員 情報は直接送られてくるもの、自分で取りに行くもので大きく変わる。

本当に重要なものはメールで送れると良い。

登録者数を増やす努力や工夫をすることが重要。

委員 ホームページにしる、メールにしる、人手をかければ良くなると思うが、市の体制として可能なのか判断して、実効性のある計画になると良い。

委員 事務局にお願いだが、資料は事前に送付して欲しい。

アンケートを通じて市がどのように考えているか市民が読み取れる。

会長 属性について、そもそも回答する方がどんなSNSをやっているのか、見るだけなのか、発信もしているのかといった情報行動を問う質問があった方が良い。

異なる情報行動をしているだろう若い世代について、今後どうするのが大切。

他のアンケートから引用しても良い。

会長 他に意見がなければ、これで本会議を終了とする。

3 その他連絡事項 (進行：事務局)

特になし

4 閉会 (12:00)